

しごと相談力フェ事業【福岡県久留米市】

個別事業費	1,740 千円
交付金額	803 千円

地域の実情と課題

久留米市を含むハローワーク久留米管内の有効求人倍率は1.00倍(令和7年1月)と、全国値(1.26倍)、福岡県(1.19倍)を下回っている。全国や県下と比べ、様々な困難を抱える方が就職するのが難しい状況である。

目的・目標

少子高齢化の進行により労働力人口の不足も深刻化する中、潜在的な労働力である離職した女性等に対し、気軽に相談できる巡回型の就労相談を実施し、さまざまな不安を抱えた女性の個別相談に応じることにより、円滑な就職の実現を目指す。
【目標】本事業を利用して就職に至った女性の年間人数
 令和7年度 20人

事業の特徴

市内の子育て支援施設等を対象に、キャリアコンサルタントが巡回型の個別就労相談・各種情報提供を実施した。6年度は新たに、市内の商業施設でハローワークと連携した就労相談会を実施した。
 相談員が、相談者個々の事情を丁寧に聞き取り、市役所庁舎内の各専門就労相談窓口と連携した就労支援を行っている。

連携団体

「久留米市雇用・就労推進協議会」

久留米労働基準監督署、久留米公共職業安定所、福岡労働局雇用環境・均等部、福岡県筑後労働者支援事務所、福岡県久留米中小企業振興事務所、福岡県立久留米高等技術専門校、連合福岡北筑後地域協議会、久留米商工会議所、久留米南部商工会、久留米東部商工会、田主丸町商工会、一般社団法人 筑後中小企業経営者協会、一般社団法人 福岡県中小企業団体中央会、職業訓練法人 久留米地区職業訓練協会、公益社団法人 久留米広域勤労者福祉サービスセンター、久留米市

事業の効果

育児のため離職するなど、就職を考えている女性に対し、匿名で個別相談を受けることで個別の不安や悩みに寄り添い、就職活動に必要な準備、就労中に必要な保育施設情報、職業訓練情報などを提供することで、就職決定につながった。

しごと相談力フェ利用者のうち市の就労サポーターへ紹介後、就職決定した人数：令和7年3月末実積：26人

今後の課題

雇用状況については、有効求人倍率は改善傾向にあるものの全国水準には至っていない。相談者の傾向として、抱える課題や不安が複雑化していることなどにより、一人あたりの相談回数が複数回にわたる場合もあり、就職に至るまでの支援に時間を要している状況もある。これらの人への再就職を支援するためには、今後も相談者個別の状況を踏まえた、寄り添った支援を継続する必要がある。また、支援が必要にもかかわらず声をあげられない人や、情報が届いていない人を、どのように掘り起こし、支援窓口に繋いでいくかも引き続き課題である。

しごと相談力フェ事業

市内の子育て支援施設等を対象に、キャリアコンサルタントなどが巡回型の個別就労相談・各種情報提供を実施した。

＜支援対象＞再就職や転職を希望する人

＜実施内容＞

・市内の子育て支援施設等13箇所で毎月1回2時間、キャリアコンサルタント等の資格を持つ女性相談員が就職活動に必要な準備、就労中に必要な保育施設情報、職業訓練情報などについて、気軽に相談できるよう匿名で個別相談を受けた。具体的な就職活動を希望する人や、職業訓練を希望する人は、ハローワークと一体的に運営している市の就労支援施設「久留米市ジョブプラザ」就労サポートへ誘導し、職業紹介まで支援した。

・上記と合わせて、令和7年2月13日には、普段から多くの人が集まる市内の商業施設で、ハローワークと連携した相談会を実施し、相談窓口にまで行きつくことができない人も含めて支援した。

